

日ASEAN経済大臣会合 ～日ASEAN経済大臣と日本産業界との対話～ 概要報告

2025年10月

日本商工会議所

1. 日 時： 2025年9月24日（水）
2. 開催地： マレーシア・クアラルンプール
3. 目 的：

日ASEAN間の貿易、投資、事業の促進、協力、拡大に向け、日ASEAN経済大臣に対し、日本産業界の代表がビジネスの現状と課題、および提言を行う。毎年開催されており今回で31回目。



会議の様子

4. 出席者：

武藤容治 経済産業大臣、ASEAN各国の経済大臣および日本産業界関係者など約50名が参加。日本産業界からは、ASEAN・日本経済協議会（五十嵐克也 日商理事・国際部長）、ジェトロ（片岡進 副理事長）、在ASEAN日本人商工会議所連合会（鳴釜宏充 議長代理：マレーシア日本人商工会議所 会頭／マレーシア三井物産社長、阿部一郎 特別顧問：ジェトロ・バンコク事務所長）が参加。

5. 総括的概要：

会合では、冒頭に武藤大臣が大阪関西万博への各国の積極的な参加に感謝すると共に万博を契機として各国とのビジネス交流が進んでおり、こうした交流がさらに深まることへの期待を述べた。

また、米国関税措置やそれに対する応酬等により国際経済環境が不透明な中、日本はASEANがこの環境をASEANのサプライチェーン強靱化の機会に変えることに貢献したいと説明した。



武藤経産大臣

6. ASEAN・日本経済協議会からの報告

五十嵐日商理事から、ASEAN戦略計画2026～2030年でも施策の一つとして挙げられている「デジタル基盤とコネクティビティの強化」にも寄与する「原産地証明書のデータ交換化の促進」につき提言を行った。また、ASEAN各国からのビジネスミッションなどが万博開催地である大阪・関西を訪問し、大阪商工会議所や関西経済連合会などを中心に様々な経済交流が実施されていることを報告した。



五十嵐日商理事・国際部長

7. 産業界からの報告に対する反応について

カオ・キムホンASEAN事務総長および参加しているASEAN大臣等からは、産業界からの市場開放、FTA促進、ASEAN Single Windowの強化、AJCEPおよびRCEPでの原産地証明書のデータ交換化の早期導入、各種規則の標準化などについての提言に感謝すると共にASEANが取り組む脱炭素化への施策、スタートアップ間のイノベーション促進、人材開発・育成などへの産業界からの支援を高く評価する旨の発言があった。

以上